
水氷一族

水氷さん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水氷一族

【Nコード】

N1254Y

【作者名】

水氷さん

【あらすじ】

ワンピースの世界で暮らしていた 主人公がNARUTOの世界へ！！

プロローグ

ある所に少女が立っていました

少女の名前は 水氷 しえみ

しえみが見ている方向には 光があつた
しえみは光に引き寄せられて行く

？「さてよ・・・ 別れも無しで行くのかよ！しえみ！」

しえみ「・・・・・・」

？「おい！！」

しえみ「・・・・？」

？「返事しろよ！！！」

しえみは 無言で光の方へ歩いていく

？「さてよ！！ 俺達二人で 海賊になつて海賊王の宝！！
ワンピースを取りに行くんだろ！！！」

しえみ「じゃあね・・・ トラお兄ちゃん！！！」

トラ「ああ やつと 名前呼んでもらえた！！ って 違ーう！！！」

キャラ設定（前書き）

キャラ設定をやります

キャラ設定

名前 水氷 しえみ

性別 女

性格 とても寂しがりや 友達に相手にされないといタズラ
する 結構慎重

容姿 身長はナルトより2センチ低い 瞳の色 青 髪の色 青

髪のはさは 肩の少し下らへん (前髪をなくすと
男の子と間違えられる)

水氷一族について・・・ 水と氷を自在に操ることができる
基本的に水を硬くしたり軟らかくしたり
する(氷も同じ)

ある技では 自分が相手の中に水として
入り操る

相手の術を使うことができる！
(しえみは まだ使えません)

趣味 トラップ作り(イタズラ)

読書 (恋愛 以外)

転生してから・・・数年後（前書き）

作者「赤ちゃんのときは、やりません!!」

しえみ「なんで?？」

作者「質問は、受け付けません」

しえみ「ひどい・・・」

作者「私（作者）が キャラクター化することあり」

しえみ「もう!!いい!!前書き終わりいい」

転生してから・・・数年後

しえみは今ある屋敷にいる・・・今、しえみは3歳だ

？「君がしえみ？俺は、水氷 カイガ・・・6歳」

しえみ「・・・・・・・・」

カイガ「はぁ・・・つまり 俺は水氷一族」

しえみ「・・・・・・・・？」

カイガ「お前の実の兄だ！」

しえみ「・・・・・・・・！！」

カイガ「無言か・・・」

カイガは しえみの無言が嫌なようだ

そしてしばらく無言が続いた・・・

しえみ「あの・・・」

カイガ（しゃべった・・・）

しえみ「スイギユウいじ族で・・・」

カイガ「????・・・!!ふざけてる??」

しえみ「・・・」（泣）

カイガ「・・・」（言葉がうまく話せないのか?）

しえみは何かの術の印を結ぶ

しえみ『聞こえる?』

カイガ「えっと・・・頭に直接 声が聞こえて気持ち悪い・・・」

しえみ『吐かないでね・・・』

カイガ「ぎぼぢわ・・・ううオエエエエエ」

しえみ「吐くなああああ!!」『水遁 水龍』!!」

カイガ「うああああああああああああああああ!!」

カイガは 水龍の餌食となり 流されてしまった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1254y/>

水氷一族

2012年1月8日18時52分発行